

妖精の森ガラス美術館 2010 年度前期企画展

「日本のガラス工芸 — さまざまな技法と表現 —」

趣 旨

この展覧会は 1960 年代から現在まで、さまざまな造形活動を展開してきた 21 名のガラス作家の作品を紹介するものです。

この 50 年ほどの間に日本のガラスは大きな変貌を遂げました。かつてガラスは工場で量産するものでしたが、今では自分の工房を持ち、ガラスを素材として自由な造形表現を行うガラス作家が増えています。

全国の美術館やギャラリーで、国内外の作品を紹介する数多くのガラス展が開催され、公募展も盛んに催されています。また、全国各地に、自分たちで制作したガラスを販売したり、ガラス体験を指導するようなガラス工房もたくさん増えました。

こうした環境の中で、ガラス作家たちは独自の表現をめざして日々たゆまぬ努力を続けています。それぞれ持ち前の感性と技法を駆使して、素材としてのガラスの可能性を追求している 21 名のガラス作家たちの、多彩で個性的な表現をお楽しみください。

開催要項

会 場 妖精の森ガラス美術館 2 階企画展示室
開催期間 2010 年 3 月 31 日 (水) ~ 2010 年 9 月 27 日 (月)
開館時間 9:30 ~ 17:00
主 催 妖精の森ガラス美術館 (0868-44-7888 担当: 畠山)
後 援 日本ガラス工芸協会
協 力 ギャラリーエノモト

入 館 料 大人・大学生 500 円 (団体 400 円) 高校生 400 円 (300 円)
小・中学生 300 円 (団体 200 円) ※団体料金は 20 名以上



藤田喬平「紅白梅飾籠」 1996

出品作家 伊藤 孚 イワタ ルリ 上島 あい子 内村 直生 馬越 寿
扇田 克也 奥野 美果 酒井 真一 佐野 曜子 志賀 英二
竹内 傳治 鍋田 尚男 西 悦子 藤田 喬平 藤田 潤
安田 泰三 山科 昌子 山野 宏 横山 尚人 吉本 由美子
若林 克昌

展示作品



安田泰三「虹色バルーン」
2010



佐野曜子「Spring Bowl」
2007



西悦子「Lace Cage」
1997



山野宏「Fish on Ice」
1997



奥野美果「オブジェ花器」
2009



鍋田尚男「紅彩四方皿」
2008